

市民クラブ

松崎 克彦 議員

地域福祉・医療の推進について

問 平成15年3月に策定された地域福祉計画の見直しは今予定されているが、見直しを行う理由と、次期計画に盛り込まれる新たな視点について伺う。

答 地域福祉の推進には、地域福祉計画を推進する「行政」、地域福祉の推進役の「市社会福祉協議会」、地域福祉推進の基礎となる「地域（地区社協）」の3者の連携が必要である。社会情勢の変化に伴う福祉に関するニーズの多様化、複雑化、さらには社会福祉制度の改正など、現行計画策定から6年が経過し、3者それぞれの置かれている状況に変化があることから、見直そうとしている。

このたびの見直しについては、それぞれの地域から出された福祉課題や生活課題を十分に踏まえた上で、新たな視点として、今年度からの「第2期障害福祉計

画」や「第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」において取組みが明確にされた「権利擁護」に関して、より具体的に記述するとともに、災害時における要援護者の支援の仕組みなどについて明記していきたいと考える。

学校選択制について

問 中学校においては、学校の特徴を出し、お互い切磋琢磨するためにも、学校選択制を行うべきと考えるが、現状と今後の取組みについて伺う。

答 本市では、子どもの登下校の見守り活動や青少年の健全育成など地域コミュニティと学校の密接な結びつきが大きな特徴である。

特に登校時の子どもの見守り活動においては、地域の方の安全指導を超えたかわりをしていたいており、今後の地域の教育力、活動力を生かした取組みの

重要性を強く感じている。

この状況は、市長が掲げている施政方針「伊丹の未来を託す「人づくり」の実現」が市民に浸透しているとも伝えられ、子どもたちが伊丹の未来を背負って立つ期待感を校区（地域）の方が持つておられると考えている。

校区の実態を踏まえた学校経営こそ、一番の特色化であり、伊丹市の各地域には、それが実現できる力があると認識している。

現時点においては、学校と地域の一層の連携が重要という観点から、中学校における「学校選択制」の導入は考えていない。



個人質問

6月定例会では、6月17日から19日の3日間に17人の議員から市政全般にわたり活発な質問が行われました。主な質問は左記のとおりです。

新公会

杉一 議員

- 予算の広報での表し方
- ことば文化都市
- 岩城 敏之 議員
- 新型インフルエンザ対策
- 災害時における自治体の連携
- 加藤 光博 議員
- 雇用問題
- オンリーワン
- 大路 康宏 議員

「ともにチャレンジ」の施政方針の真意

- 明るく元気な地域づくり
- 「いたみ健康づくり大作戦」
- 川井田清信 議員
- 山陽新幹線公害対策
- 中学校の部活動
- 市立博物館夏季企画展「大阪国際空港開港70周年記念」

公明党

北原 速男 議員

- 環境問題への積極的な取り組み姿勢
- 老人福祉施設のスプリングタワー設置と今後の取組

み

- まちのにぎわいづくり
- 一括成交付金事業の取組

山内 寛 議員

- 幼児2人同乗用自転車普及促進への取組み
- 屋上緑化への取組み
- 永田 公子 議員
- 市民の読書啓発推進
- 女性特有のがん検診

連合市民議員団

- 総合的な安全教育の推進
- 齋藤 真治 議員
- 中心市街地活性化
- 就学前の子育て
- 泊 照彦 議員
- 今後の家庭菜園事業の展望と課題の解決
- 防災対策上の要援護者支援体制の進捗状況とこれまでの組織体制との矛盾点

日本共産党

伊丹市議会議員団

- 久村 真知子 議員
- 市民の命と健康を守る
- 自殺予防
- 地上デジタル放送トラブル

ルの解決

- 中村 孝之 議員
- 中学校給食の実施検討
- 農業振興条例の制定
- 上原 秀樹 議員
- 生活保護世帯の一人親世帯に対する支援強化
- 開かれた学校と学校評価のあり方

いたみ未来ネット

相崎 佐和子 議員

- 安心して産み育てられる環境づくり
- 平野 園美 議員
- 平成21年度教育基本方針
- 発達が心配とされる子どもが成人するまで
- 林 実 議員
- 国民健康保険
- 土地開発公社の経営健全化計画
- 神戸地区のまちづくり活性化

市民クラブ

新内 竜一郎 議員

- 社会教育施設（新図書館）等の整備計画
- 伊丹空港を活用したレールアクセス構想の推進